

基礎をしっかりと学ぶ スキー教室開催

1月5日、町スキー連盟（住吉泰文会長）が主催のスキー教室が町民スキー場で行われ、子どもから大人まで、19人の受講者がスキー教室に参加しました。

親御さんの笑顔に見守られながら、講師のあとに続いて次々と滑り降りてくる子どもたちは、滑る回数が増えるごとに上達している様子でした。

昨冬は積雪も少なく、町民スキー場のオープンが遅れましたが、今冬は積雪も多く、1月4日にオープンし、予定通りに3月まで営業することができそうです。



寒さに打ち勝つ 空手道・寒稽古

1月10日、上ノ国町空手スポーツ少年団（納谷俊彦団長）の寒稽古が行われ、小学生から一般まで19人が参加しました。

この寒稽古は、心身を鍛え、今年一年の無病息災を祈念して毎年行われており、昨年までは上ノ国の海岸で行われていましたが、今年はコロナウイルス感染防止の観点から、上ノ国八幡宮の境内での寒稽古となりました。

参加した団員たちは、気迫のこもった掛け声とともに拳を突き出し、極寒の中、新年最初の稽古に取り組んでいました。



年始めの運だめし 『わくわく抽選会』

12月の間に地元の特産品などが当たる『わくわく抽選会』の抽選券が商工会に加盟する事業所で購入千円毎に一枚配布する事業が実施されました。

この事業は、町内事業者の活性化と町の特産品のPRを目的に、上ノ国町商工会が企画し、一昨年から継続しているもので、1月8日に関係者による厳正な抽選が行われ、応募総数約12万件の中からわくわく賞など355本が決定しました。

商工会では今後も加盟事業者を中心に、経済の活性化に資する事業を展開していくこととしていきます。



新たな魅力ある資源 開発の相互連携

12月23日、上ノ国町と上ノ国開発株式会社（丸山和之社長）の間で、町の新たな魅力ある資源を開発するための連携・協力に関する協定を締結しました。

この協定は、まちづくりに資する事業展開を図り、遊休施設等を活用していくもので、上ノ国開発では旧湯ノ岱小学校を利用したワイン製造やサテライトオフィス事業などを行う予定です。丸山社長は「上ノ国の素晴らしい農水産物の商品化のお手伝いをしていきたい」と話され、今後の「魅力ある資源の開発」が期待されます。

